



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 三国コカ・コーラボトリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2572 URL <http://www.mikuni-ccbc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 椎名 幹芳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO常務執行役員 (氏名) 伊藤 正樹 (TEL) 048-774-3131
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	93,216	2.8	3,181	△14.8	3,336	7.0	1,889	14.5
23年12月期第3四半期	90,692	△4.2	3,734	△15.5	3,118	△32.6	1,649	△40.2

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 2,000百万円(31.3%) 23年12月期第3四半期 1,523百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	39.12	—
23年12月期第3四半期	34.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	82,593	65,861	79.7
23年12月期	81,987	65,019	79.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 65,861百万円 23年12月期 65,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年12月期	—	12.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	2.8	4,000	△4.5	3,900	7.3	2,000	7.4	41.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期3Q	53,555,732株	23年12月期	53,555,732株
24年12月期3Q	5,270,893株	23年12月期	5,270,694株
24年12月期3Q	48,284,968株	23年12月期3Q	48,285,378株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、震災の復興需要により一部持ち直しの動きがみられたものの、長引く円高やデフレの影響などにより個人消費は伸び悩み、回復の動きに足踏み感がみられ、更には外交問題や世界経済の減速などがわが国経済にどのように影響するのかなど、不透明感が増す状況で推移いたしました。

清涼飲料業界全体では、猛暑などの影響もあり販売数量は3%程度増加したと思われませんが、マーケット店頭での販売価格競争の激化による単価の下落が続くなど、非常に厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは「夢に向かって進化するNo. 1ボトラー」をビジョンとする中期経営構想「**CHANGE³**」(チェンジ・チェンジ・チェンジ)の最終年として、これまでの活動の結果を形とする年と位置づけ、改革・改善活動に取り組んでおります。

第3四半期は、当社における最盛期であるため「Full Power!!」をスローガンに掲げ、全社一丸となってマーケットシェアの奪還、利益の追求を目指し、ロンドンオリンピック開催に合わせて「MOVE TO THE BEAT コカ・コーラをあけて、世界と熱くなろう」をはじめとするオリンピックに関連するキャンペーンを展開し、各販売チャネルにおける重点活動である多箇所展開、業務酒販店との協働営業、自動販売機のプレダトリー(競合自動販売機の撤去)などの活動をより一層強化いたしました。更に、官公庁や医療機関などと災害時飲料水供給に関する協定締結や医療機関などを支援する自動販売機の設置活動も積極的に推進いたしました。

また、主な製品につきましては、6月にイギリス生まれのブランド、シュウェップスブリティッシュレモニックを発売し、8月には当社主力製品の一つでもあるコカ・コーラゼロ及びゼロフリーをリニューアルし、ロンドンオリンピックに関連した製品の投入と、ゼロ炭酸市場の活性化によるマーケットシェアの拡大を目指しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、猛暑などの効果により販売数量は増加しましたが、価格競争の激化による単価下落及び販売促進費負担増加などの影響により、売上高は932億16百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は31億81百万円(前年同期比14.8%減)、経常利益は33億36百万円(前年同期比7.0%増)、四半期純利益は18億89百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間における流動資産は、前連結会計年度末に比べて24億13百万円減少し378億43百万円となりました。これは主に現金及び預金が32億44百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて30億19百万円増加し447億50百万円となりました。これは主に有形固定資産が29億22百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間における流動負債は、前連結会計年度末に比べて60百万円減少し146億97百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6億67百万円、賞与引当金が1億99百万円増加した一方、未払費用が9億2百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて1億74百万円減少し20億34百万円となりました。これは、その他に含まれるリース債務が1億89百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産合計は前連結会計年度末に比べて8億41百万円増加し658億61百万円となりました。これは主に利益剰余金が7億30百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ28億44百万円減少し102億18百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローについては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは52億66百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益32億59百万円、減価償却費39億84百万円の収入の一方、法人税等の支払額13億72百万円の支出等によるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間と比較すると25億35百万円（前年同期比32.5%）の収入減となりました。これは仕入債務の支払の増加が主要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは67億51百万円の支出となりました。これは固定資産の取得による支出73億63百万円等によるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間と比較すると、30億84百万円（前年同期比84.1%）の支出増となりました。これは固定資産の取得による支出の増加が主要因となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは13億59百万円の支出となりました。これは主に配当金の支払額11億58百万円等によるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間と比較すると、14百万円（前年同期比1.1%）の支出減となりました。これはリース債務の返済による支出の減少が主要因となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、マーケット店頭での販売価格競争の更なる激化など、当社グループにとりまして、非常に厳しい事業環境が続くことが予想され、当第3四半期連結累計期間の業績などを踏まえまして、平成24年2月14日の公表いたしました平成24年12月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

(参考)

個別業績予想は、連結業績と同様の理由により、以下のとおり修正いたします。

■平成24年12月期の個別業績予想の修正（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	2.7	2,800	△4.1	3,300	△6.1	1,800	△15.4	37.28

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,583	10,339
受取手形及び売掛金	8,018	9,207
商品及び製品	4,725	4,449
原材料及び貯蔵品	259	196
未収入金	2,266	2,013
預け金	10,000	10,000
その他	1,421	1,652
貸倒引当金	△18	△14
流動資産合計	40,257	37,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,442	8,977
機械装置及び運搬具（純額）	1,364	1,392
販売機器（純額）	8,748	9,561
土地	8,961	10,425
その他（純額）	1,981	2,064
有形固定資産合計	29,499	32,421
無形固定資産	641	637
投資その他の資産		
投資有価証券	8,435	8,771
その他	3,265	3,023
貸倒引当金	△77	△68
投資損失引当金	△33	△34
投資その他の資産合計	11,590	11,691
固定資産合計	41,730	44,750
資産合計	81,987	82,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,577	7,244
未払費用	4,399	3,497
未払法人税等	1,153	1,213
賞与引当金	642	841
役員賞与引当金	43	37
その他	1,940	1,862
流動負債合計	14,758	14,697
固定負債		
役員退職引当金	3	2
従業員長期未払金	986	1,008
資産除去債務	569	570
その他	650	453
固定負債合計	2,209	2,034
負債合計	16,967	16,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,407	5,407
資本剰余金	5,357	5,357
利益剰余金	60,116	60,846
自己株式	△5,760	△5,760
株主資本合計	65,122	65,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	8
繰延ヘッジ損益	△3	0
その他の包括利益累計額合計	△102	8
純資産合計	65,019	65,861
負債純資産合計	81,987	82,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	90,692	93,216
売上原価	54,963	56,977
売上総利益	35,729	36,239
販売費及び一般管理費	31,994	33,057
営業利益	3,734	3,181
営業外収益		
受取利息	131	104
受取配当金	39	39
持分法による投資利益	—	183
雑収入	43	66
営業外収益合計	214	393
営業外費用		
支払利息	33	30
固定資産処分損	184	174
持分法による投資損失	543	—
雑損失	68	34
営業外費用合計	830	238
経常利益	3,118	3,336
特別利益		
固定資産売却益	6	—
貸倒引当金戻入額	4	—
収用補償金	764	—
子会社清算益	5	—
特別利益合計	781	—
特別損失		
固定資産除却損	23	56
減損損失	61	3
貸倒引当金繰入額	0	—
投資損失引当金繰入額	0	—
災害による損失	128	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	498	—
事務所解体費用	149	—
投資有価証券評価損	2	16
特別損失合計	865	76
税金等調整前四半期純利益	3,034	3,259
法人税、住民税及び事業税	1,472	1,442
法人税等調整額	△87	△72
法人税等合計	1,384	1,370
少数株主損益調整前四半期純利益	1,649	1,889
四半期純利益	1,649	1,889

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,649	1,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	107
繰延ヘッジ損益	△15	3
その他の包括利益合計	△126	111
四半期包括利益	1,523	2,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,523	2,000

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,034	3,259
減価償却費	3,924	3,984
減損損失	61	3
固定資産処分損益 (△は益)	207	230
固定資産売却損益 (△は益)	△6	—
役員退職引当金の増減額 (△は減少)	△22	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	113	199
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	16
受取利息及び受取配当金	△170	△143
支払利息	33	30
持分法による投資損益 (△は益)	543	△183
災害損失	128	—
収用補償金	△764	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	498	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△794	△1,189
たな卸資産の増減額 (△は増加)	311	339
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,698	667
その他	606	△679
小計	9,385	6,521
利息及び配当金の受取額	211	148
利息の支払額	△33	△30
法人税等の支払額	△1,762	△1,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,801	5,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△100
定期預金の払戻による収入	800	500
固定資産の取得による支出	△4,881	△7,363
固定資産の売却による収入	19	9
投資有価証券の取得による支出	△1,212	△505
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,507	502
事業譲渡による収入	15	—
収用補償金の受取による収入	555	214
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△5	△38
その他	32	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,667	△6,751
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△214	△200
配当金の支払額	△1,158	△1,158
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,374	△1,359
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,760	△2,844
現金及び現金同等物の期首残高	9,474	13,062
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,234	10,218

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、清涼飲料の製造・販売を主な事業内容としており、報告セグメントは清涼飲料事業の単一セグメントとなっております。また、その他の事業の重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。